



# 豊春中だより

学校教育目標  
かがやく未来を創る  
～夢・感動・絆～

〒344-0048 春日部市南中曽根107番地2 TEL048(752)2717 FAX048(763)9664

## 「おしゃれ」と「身だしなみ」の違い

校長 永野 修

寒暖差の激しかった11月も終わり、本格的な冬の訪れを感じさせる季節となりました。3年生は、三者面談や期末テストも終わり、いよいよ進路選択と受験シーズンを迎えています。1・2年生も、この2学期は、職業体験や高校の出前授業等を通して、自らの進路選択について関心が高まっているところです。

さて、先月から始まった3年生を対象とした校長面接も終盤にさしかかってきました。そこで、今回は中学生にとっての「身だしなみ」について考えてみたいと思います。なぜ「身だしなみ」を整えなければならないのでしょうか。「おしゃれ」と「身だしなみ」にはどのような違いがあるのでしょうか。「おしゃれ」とは、自分自身の個性を周りにアピールし表現するための手段であり、基準は自分自身にあります。「身だしなみ」とは、相手に不快感や違和感を与えないための服装や身なりをいい、他人に自分がどう映るかが基準となります。つまり、どちらかという「おしゃれ」は自分本位の考え方であり、「身だしなみ」は相手本位の考え方であるといえます。「身だしなみ」という言葉の語源は、身をたしなむことに由来するそうです。身をたしなむとは、相手に不快感を与えないように、自分の服装を正しく整えることであり、常に周囲への配慮と深い教養が求められます。「身だしなみ」は、相手に対する敬意であり、会うべき人に対する礼儀でもあるのです。儀式的時に式服、礼服といった服装を身につけるのは、相手や周囲に不快感を与えないような配慮であり、多くを語らなくても服装自体が自分の気持ちを相手に伝えてくれるのです。

本校でも、時代の変化にも対応しながら、健全な中学生としての服装や身だしなみができるよう『服装・身だしなみのきまり』を規定し日頃から指導しているところです。しかし、思春期の中学生にとっては、ありがちなことではありますが「おしゃれ」と「身だしなみ」の違いが区別できずに、制服を着崩したり、身に付けるべきものを身に付けていない生徒も若干見受けられるのが現状です。学校の制服や体操着は生徒にとってのユニホームであり、プライベートの私服と違って、相手本位の「身だしなみ」をより意識すべき服装なのです。表現を変えると社会的な服装であるといえます。この社会的な服装をしっかりと整えることで「外見は自分だけのものではない」という意識が働き、少なからず責任を自覚させ、公私の区別を教えることも中学校教育の大切な役割であると考えます。

学校は「社会にでる（大人になる）ための準備や練習をするところ」です。将来、地域社会や会社等の組織の一員となった時に「身だしなみ」やマナーを大事にしないために相手に不快感や違和感を与えてしまわないためにも、この中学生の時期に「おしゃれ」と「身だしなみ」の違いについて理解させ、使い分けることができるようにしたいものです。